

株式会社 小富士製作所

DATA

【代表者名】 代表取締役社長 押原 由美子 【設立】 1969年12月 【事業内容】 電子機器、通信機器の機構設計、板金加工並びに塗装、各種電子機器の組み立て、配線加工、および試験
 【実施場所】 〒029-4204 岩手県奥州市前沢字本杉10-1
 【資本金】 1,200万円 【従業員数】 110名
 TEL.0197-56-4611 FAX.0197-56-4649
 【URL】 <http://www.kfj.co.jp>
 E-mail. info.iwate@kfj.co.jp

26年度
事業計画名

宇宙・防衛領域の高精度要求を満たす生産体制の構築と確立

高性能ベンディングマシンを導入し、取引先拡大と新分野参入を目指す

顧客の高精度要求を満たし新規受注の獲得につなげるため、最新式ベンディングマシンを導入。高性能設備と職人技を駆使した製品供給と積極的な営業活動を展開し、新分野への参入を図る。

生産体制を見直し営業、販売体制を再構築

当社は、駐車場システムやドライビングシミュレーター、発電所制御盤等の筐体精密板金加工を主に行っており、板金加工から塗装、組み立て、装置の組み込み、配線、メンテナンスまで一貫して行うことが当社の強みとなっている。

工場には使用開始後20年以上経過した機械が多く、職人の経験と勘によりうまく使いこなす顧客のニーズに対応してきたが近年は、精度の高い加工を要求され、古い機械では対応に苦慮することも多くなっていた。

例えば、主要顧客から受注した板金製品は、仕上がり寸法誤差±0.1mm以下であったが、当社が保有するベンディングマシン（金属板を折り曲げる機械）の実用精度は±0.2～0.3mmであり要求精度を満たすことはできなかった。これを職人技に頼り製造しても、納期やコスト面で合わず、受注拡大を阻む障壁となっていた。

こうしたことから、当社ではベンディングに関し顧客が求める精度に対応し、一層の関係強化を図ると



あらかじめ入力されたデータを、タッチパネルを操作して呼び出す。

もに新規の顧客獲得を目指すこととし、高性能のベンディングマシンを導入し営業、販売体制を再構築することとした。

加工時間の減少と精度が向上

本事業により導入したハイブリッドドライブベンディングマシンは、ベンディングの精度基準となる「突き当て精度」（素材の位置決めの際の精度）は誤差±0.003mmとなっており、当社で保有していた従来のベンディングマシンと比べ、はるかに高いレベルの寸法精度を実現している。

このベンディングマシンによる加工時間は大幅に短縮されている。従来のベンディングマシンでは作業者が図面を見て、曲げ角度を計算し、試し曲げや手直しを繰り返しながら必要な寸法を出す調整が必要であったが導入したベンディングマシンは、あらかじめ作成したデータを無線LANで送信し、複雑な形状の曲げ加工を自動で行うことが可能となっている。こうしたこ



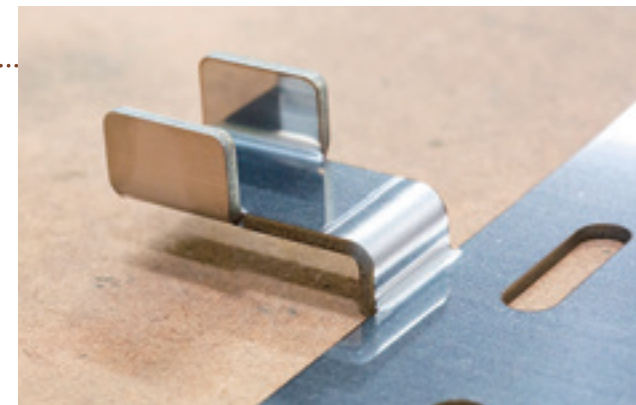
設定した角度に曲げ、誤差も生まれにくい高性能ベンディングマシン。

とから加工が高精度になるとともに加工時間は従来のベンディングマシンに比べ減少している。また、熟練者に限らず誰が操作しても一定の加工速度と精度が保たれるようになった。

社員の意識改革を促す

当社では、取引先の分散化を図るため新規開拓の必要性を認識していた。本事業によりハイブリッドドライブベンディングマシンを導入し、高度な精度要求等に応えられる生産体制が整備され、積極的な営業活動を展開した結果、新規の2社と受注契約に至っている。

また、ハイブリッドドライブベンディングマシンの導入を機に作業の数値化を徹底し、リードタイムや作業単価を社員に強く意識させ、成果を挙げてきており意識改革を促す取り組みも進めている。今後、営業体制をさらに強化し、取引先の拡大に努め新規分野への



薄板から厚板、曲げ角度も自在に加工。

参入を図り、売上の増大を図ることとしている。

技術面の強みを生かし、新分野へ進出

顧客のニーズに対応するため、最新の設備導入は常に必要であるが、当社のもので作りは職人技に頼る工程も多くあるため、専門技術の習得や資格取得には全社で支援しており、工場板金技能士や塗装技能士などの国家資格や溶接技能者など公的資格の取得者が多数在籍している。

当社は、保有する設備や技術、技能を駆使し医療分野への進出を視野に入れている。医療現場では収納棚や作業台などステンレス製品の需要は多い。ステンレスは傷が付きやすく扱いにくいものであるが、これを克服した製品を提案し、新規参入の手がかりにしたいと考えている。また、当社が受注している企業から宇



右から取締役副社長の押原謙さん、執行役事業本部長の藤本幸一さん、執行役員岩手本社工場長の菅原浩喜さん。

宙、防衛関連と思われる部品製造の製作依頼をされたが受注には至っておらず、新たな成長領域として宇宙、防衛産業の受注に対応できる体制を構築していきたい。